

最近2週間の状態について、本人等からの情報、健康管理スタッフの面接をもとに評価して下さい。

**A. 基本的な生活状況**

1. 起床時刻

健康に出勤していたときの起床時刻より、1時間以上遅く起きることが平均して週に何回あるか。(休日は、出勤していたときの休日の起床時刻を基準とする。健康なときは、病気になる以前、時間外勤務が月20時間以下であった状況を指す——常に20時間を越える時間外勤務をしていた場合は、時間外勤務が一番少なかった時期とする。)

週 \_\_\_\_\_ 回

〔情報をうるための標準質問〕

健康に出勤したときの起床時刻より1時間以上遅く起きることは週に何回くらいありますか？(この質問が理解できなければ)朝何時くらいに起きていますか？会社に行っていたときは、何時に起きていましたか？

2. 食生活リズム

健康なときと比べた食生活のリズム

(健康なときに朝食を抜く等の習慣があった場合は、この項目の「食事を抜かず」には、該当しない。健康なときの習慣からの変化を評価する。)

- ① いつも乱れている(週4回以上食事を抜かず)。
- ② 時に、不規則である(週2～3回食事を抜かず)。
- ③ だいたい問題ない(食事を抜かずのは、週0～1回である。健康なときの食事時間と2時間以上ずれることが、週3回以上ある)。
- ④ まったく問題ない(食事を抜かずのは、週0～1回である。健康なときの食事時間と2時間以上ずれることが、週2回以下である)。

〔情報をうるための標準質問〕

食事は一日何回、何時にとっていますか？日によって食事の回数や時間が違うことはありますか？食事を抜かずことはどのくらいありますか？一日のうちどのくらいありますか？(または)日によって食事の回数や時間が違うことはありますか？食事を抜かずことは、1週間のうちどのくらいありますか？

3. 戸外での活動

2時間以上戸外で活動している日が、平均して、週に何回あるか。

週 \_\_\_\_\_ 回

〔情報をうるための標準質問〕

家の外での活動はどのくらいしていますか？2時間以上家の外で活動する日は、週に何回ありますか？(戸外の活動とは、外出、戸外の畑仕事を指す——家の中での家事は含まない。)

**B. 症状**

4. 精神症状(例：ゆううつ、イライラ、不安、やる気のなさ等)のために

- ① 日常生活に、週の半分以上支障がある。
- ② 日常生活に、支障が出ることがある。
- ③ 精神症状がときにみられるが、日常生活への支障はない。
- ④ 精神症状は、まったくない。

〔情報をうるための標準質問〕

ゆううつ、いらいら、不安、やる気がない等の症状のために、生活していて差し障りがでること、日常生活が円滑に送れないことは、週に何回くらいありますか？（睡眠については、別項目で確認。）

5. 身体症状（頭痛、倦怠感、発熱、下痢、吐き気等）のために
- ① 日常生活に、週の半分以上支障がある。
  - ② 日常生活に支障が出ることがある。
  - ③ 身体症状がときにみられるが、日常生活への支障はない。
  - ④ 身体症状は、まったくみられない。

〔情報をうるための標準質問〕

頭痛、倦怠感、発熱、下痢、吐き気等の、からだの症状のために、生活していて差し障りがでることは、週に何回くらいありますか？（睡眠については、別項目で確認。）

6. 熟眠感  
「よく眠れなかったと感じた日」が、平均して、週に何回あるか。  
週 \_\_\_\_\_ 回

〔情報をうるための標準質問〕

よく眠れなかったと感じた日は、平均して、週に何回ありますか？

7. 睡眠時間  
健康なときと比べて、2時間以上、睡眠が短い、または長い日が、平均して、週に何回あるか。（健康なときの定義は、1に同じ）  
週 \_\_\_\_\_ 回

〔情報をうるための標準質問〕

睡眠時間が、健康なときと比べて、2時間以上短いとか、逆に2時間以上長い日は、平均して、週に何回ありますか？

8. 昼間の眠気 (Karolinska Sleepiness Scale 日本語版)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
非常にはっきり目覚めている		目覚めている		どちらでもない		眠い		とても眠い（眠気と戦っている）

〔情報をうるための標準質問〕

午後2時頃の、あなたの眠気の状態をもっともよく表した数字に○をつけて下さい。

9. 興味・関心
- ① 何にも興味・関心がない。
  - ② 元々興味・関心があったことの全部ではないが、一部に興味・関心を持っている。
  - ③ 元々興味・関心があったことに、ほぼ興味・関心を持っている。または、元々興味・関心があったことには興味・関心を持たないが、それ以外のことがらに、興味・関心を持っている。
  - ④ 元々興味・関心があったことに加えて、それ以外のことがらにも、興味・関心を持っている。

〔情報をうるための標準質問〕

もともと興味や関心があったことに、興味や関心を持てますか？それ以外のことで、最近、興味や関心を持っていることはありますか？

**C. 基本的社会性**

10. 身だしなみ（洗顔、洗髪、歯磨き、清潔な身なり等）

（面接時の印象で面接者が主観的に評価する）

- ① 時に、どれか整っていない（週に1回くらい）。
- ② まれに、どれか整っていない（2週間から月に1回くらい）。
- ③ いつも標準的に整っている。
- ④ 身だしなみが一般の人よりすぐれている印象を与える。

〔情報をうるための標準質問〕

身だしなみは、いつも、今日と同じくらいにしていますか？

11. 他人との交流（他人とは、近所の人、知人、健康管理スタッフ、上司等を指す）

- ① 話しかけられても、返事をできないことがある。
- ② 話しかけられれば返事をする。自分から話しかけることはない。
- ③ 自分から話しかけるが、相手は、既に知っている人に限られる。
- ④ 初対面の人でも、必要なときは自分から話しかける。

〔情報をうるための標準質問〕

他の人に話しかけられて、返事をしないことはありますか？他の人に、自分から話しかけることはありますか？知らない人にでも、話しかけますか？

**D. サポート状況**

12. 家族との関係

- ① 家族とは悪化した関係で、家族との関係自体が負担である。
- ② 家族からのサポートは受けられない。または、単身で生活している。
- ③ 家族との関係はほぼ良好であり、一定のサポートがある（一部ストレスがあるが、サポートの方が上回る）。
- ④ 家族との関係は良好であり、十分なサポートがある（家族とのストレスはない）。

〔情報をうるための標準質問〕

今、同居している家族はいますか？家族との関係は負担ですか、それともサポートしてくれますか？

13. 主治医との関係

（本人の話から、可能な範囲で面接者が評価する）

- ① 主治医に通院していない。
- ② 通院しているが、主治医の治療方針を守っていない。
- ③ 主治医の治療方針は守っているが、質問や話し合いが十分にできていない点がある。
- ④ 主治医と、質問や話し合いを十分にしている。

〔情報をうるための標準質問〕

今、通院していますか？主治医の治療方針を守っていますか？主治医と、十分に質問や話し合いができますか？

**E. 職場との関係**

14. ト라우マ感情

(トラウマ感情とは、「自分は、職場、会社の犠牲になって発病した」という感情を指す。この項目は、「事実」の有無に関わらず、本人の申し立てに基づいて、評価する。)

- ① ト라우マ感情を表現し、パニック、興奮、身体症状等が出現し、生活上の機能に影響することがある。または、他人(同僚、健康管理スタッフ、家族等)の意見を聞かない。
- ② 発病に関するトラウマを表現し、パニック、興奮、身体症状等が出現することがあるが、生活上の機能には影響しない。または、他人の意見は聞くが、考え方・トラウマ感情は変わらない。
- ③ 発病に関するトラウマを表現するが、パニック、興奮、身体症状等は出現しない。または、他人の意見を聞いて、自分の考え方を振り返ることができる。
- ④ 発病に関するトラウマを表現しない。

〔情報をうるための標準質問〕

「職場や会社の犠牲になって病気になる」という気持ちはありますか？(あれば)犠牲になったというのを思い出して、症状が出ることはありますか？生活に差し障りがでること、生活が円滑に送れなくなることはありますか？そういうことについて、他の人と話し合うことはありますか？(あれば)他の人の意見について、どう思いますか？

15. 就業規則、約束の不遵守

(「就業規則の不遵守」とは、「無断欠勤」のように就業規則に従わない行為、「約束の不遵守」とは、就業規則には定められていないが、上司、同僚、顧客との約束を守らず、相手に迷惑をかける行為を指す。)

- ① 就業規則の不遵守が過去にあり、今後も行動を改めるつもりがない。
- ② 就業規則の不遵守が過去にあったが、今後は行動を改めると述べている。または約束の不遵守が過去にあり、今後も行動を改めるつもりがない。
- ③ 約束の不遵守のみ過去にみられ、今後は行動を改めると述べている。
- ④ 就業規則、約束の不遵守がみられたことはない。

〔情報をうるための標準質問〕

調子が悪かったとき、無断欠勤等で「就業規則を守っていない」と言われたこと、または、上司、同僚、お客さんとの約束を守れなかったことはありますか？(あれば)そのことについて、今ふりかえてみてどう思いますか？

**F. 作業能力、業務関連**

16. 集中力

TVをみる、雑誌・新聞・本を読む等、集中しようとした場合

(本に集中できれば、内容にかかわらず、③または④と評価する)

- ① ほとんど集中できない。または、集中しようとするのがない、集中したい気持ちがあっても、実際にはできない。
- ② TV、雑誌、新聞等一般的な内容であれば集中できる。
- ③ 業務関連ではない内容の本に集中できる。
- ④ 業務関連の内容の本に集中できる。

〔情報をうるための標準質問〕

TV、雑誌、新聞に集中できますか？本を読むとき、集中できますか？業務関連の内容の本を、集中して読めますか？

17. 業務への関心・理解

- ① 自発的な関心を示さず、上司や健康管理スタッフとの話し合いでも、関心、理解を示さない。または、主治医から仕事の話が禁じられている。
- ② 自発的には関心を示さないが、上司や健康管理スタッフとの話し合いにより、関心、理解を示す。
- ③ 自発的に関心を持っているが、上司の説明を一部理解していない点がある。
- ④ 自発的に関心を持ち、上司の説明を理解している。

〔情報をうるための標準質問〕

復職したら、どんな仕事をしたいと思っていますか？仕事の内容について、上司と話し合いをしていますか？（していれば）上司の話は理解できますか？

18. 業務遂行能力（以前の仕事に戻るとして）

現在から6ヶ月以内に、健康時の業務遂行能力の何割が達成されると思われるか？  
\_\_\_\_\_割

〔情報をうるための標準質問〕

以前の仕事に戻るとして、現在から6ヶ月以内に、健康時の仕事能力の何割まで回復できると思いますか？

G. 準備状況

19. 職場上司との接触

職場の上司と面接、電話で接触回数（メールは含まない）が平均して、月に何回あるか。

休業が3ヶ月以上の場合、直近の過去3ヶ月の平均で評価する。

休業が1～3ヶ月の場合、休業期間中の月平均で評価する。

休業が1ヶ月未満の場合、面接が「なし」は0、「あり」は回数を休業期間で割って評価する。

（例：2週間の休業で1回面接していれば、 $1 \div 0.5$ （ヶ月）＝2回）

月\_\_\_\_\_回

〔情報をうるための標準質問〕

職場の上司とは、月に何回くらい、直接会ったり、電話で話したりしていますか？メールのやりとりは含みません。

20. 業務への準備

業務への準備として、「睡眠・覚醒のリズムを整える」「作業能力の準備をする」「職場の情報を入手する」「通勤練習をする」のうち、いくつを行っているか。

（作業能力の準備は、職種によって異なる。例えば、「パソコンの練習をする」「業務関係の本や雑誌を読む」「業務関係のサイトを探索する」「（工場勤務等では）体力を鍛える」等。職場の情報の入手については、「他の社員や上司とメールや電話で連絡する」「他の社員や上司と直接会って話す」等。）

- ① ほとんどしていない（1つ以下）
- ② 少ししている（2つ）
- ③ だいたいしている（3つ）
- ④ ほとんどしている（4つ以上）

〔情報をうるための標準質問〕

仕事に戻るための努力として、「睡眠・覚醒のリズムを整える」「作業能力の準備をする」「職場の情報を手に入れる」「通勤の練習をする」のうち、いくつを行っていますか？

## H. 健康管理

### 2 1. 服薬へのコンプライアンス

- ① 主治医に相談せずに、服薬を完全に中断する。
- ② 主治医に相談せずに、服薬を一部中断する。
- ③ 主治医に相談せずに、服薬を中断することはない。服薬の一部自己調整について、主治医と話し合ったことはない。
- ④ 主治医に相談せずに、服薬を中断することはない。服薬の一部自己調整について、主治医と話し合っている。

〔情報をうるための標準質問〕

主治医に話さずに、薬をのむのをやめることはありますか？薬の一部を、自分で調整してのんでもよいが、主治医と話し合ったことはありますか？

### 2 2. 健康管理スタッフとの関係

健康管理上の指導として面接に呼んだ場合

- ① 健康管理スタッフに会いに来ない。
- ② 健康管理スタッフに会いには来るが、指導を受け入れない。健康管理スタッフが、本人の回復状況・スケジュールの都合等で、まだ面接に呼んでいない場合も含める。
- ③ 健康管理スタッフの指導を、概ね受け入れるが、一部受け入れない点がある。
- ④ 健康管理スタッフの指導を受け入れる。

〔情報をうるための標準質問〕

会社の健康管理スタッフとは会っていますか？スタッフの指導は受け入れられますか？

### 2 3. 再発防止への心構え

- ① 再発の可能性について、話し合うことができない。
- ② 再発の可能性について話し合うことはできるが、主治医、健康管理スタッフのアドバイスを受け入れない。または、主治医、健康管理スタッフがアドバイスをしていない。自発的に考えているが、主治医、健康管理スタッフのアドバイスを受け入れない場合も含める。
- ③ 再発防止について、自発的に考えることはないが、主治医、健康管理スタッフのアドバイスは受け入れる。
- ④ 再発防止について、主治医、健康管理スタッフのアドバイスを受け入れ、また、自発的に考えている。

〔情報をうるための標準質問〕

復職後、再発しないように、自分で考えていることはありますか？主治医や健康管理スタッフは、アドバイスしてくれますか？（していれば）アドバイスを、どう思いますか？

【基本データ】(復職時に確認してください)

1. 性別 ①男性 ②女性
2. 年齢(年) 調査への同意時の年齢を、数字で入力する
3. 学歴 ①高卒まで ②専門学校・大学中退 ③大卒  
④大学院以上(大学院に通学歴があれば、大学院以上とする)
4. 婚姻状況 ①未婚 ②既婚(再婚を含む) ③離婚 ④死別
5. 診断 ①気分障害 ②不安障害 ③精神病  
④物質依存(アルコール依存を含む) ⑤その他
6. 初診時年齢 当該疾患の為に、最初に医療機関を受診したときの年齢
7. 直近休務期間(月) 今回の休務期間(継続していれば、有給休暇も含む)
8. 総休務回数 過去に病気休暇・休職した回数
9. 総休務期間(月) 過去に病気休暇・休職した期間の合計(継続していれば、有給休暇も含む)
10. 所属企業業種  
①鉱業 ②建設業 ③製造業 ④電気・ガス・水道  
⑤運輸 ⑥通信 ⑦卸売・小売 ⑧飲食 ⑨金融・保険  
⑩不動産業 ⑪サービス業 ⑫医療・福祉  
⑬それ以外  
(記入して下さい: )
11. 職種  
①研究職、②SE、③技術職、④専門職、⑤管理部門、⑥事務、⑦営業・販売、⑧サービス、⑨運転、⑩生産ライン・機械操作、⑪保安、⑫その他
12. 職階  
①経営層・事業場長相当以上、②部・課長相当、③係長・主任相当、  
④一般社員、⑤その他( )
13. 勤続年数(現在の企業) 現在の企業で正社員として勤務した年数
14. 勤続年数(合計) これまでに各企業で正社員として勤務した年数
15. 休務前3ヶ月の平均時間外勤務時間  
(月平均 時間)
16. 業務上の発症イベントの有無と内容  
発症前6ヶ月間における業務上の出来事 ①あり ②なし(→17へ)  
16-1 イベントの個数(ありの場合) ①1つ ②2つ以上  
16-2 イベントの内容(ありの場合具体的に記載: )  
16-3 客観的に見た場合のイベントの影響の大きさ(複数のイベントがある場合には最も影響の大きかったイベントについて)  
①非常に大きい ②やや大きい ③それほど大きくない ④小さい ⑤不明
17. 業務外の発症イベントの有無と内容  
発症前6ヶ月間における業務外の出来事 ①あり ②なし(→18へ)  
17-1 イベントの個数(ありの場合) ①1つ ②2つ以上  
17-2 イベントの内容(ありの場合具体的に記載: )  
17-3 客観的に見た場合のイベントの影響の大きさ(複数のイベントがある場合には最も影響の大きかったイベントについて)  
①非常に大きい ②やや大きい ③それほど大きくない ④小さい ⑤不明
18. 復職直前に、職場復帰援助プログラムに参加していた  
①あり ②なし(→19へ)  
18-1 職場復帰援助プログラムの合計参加期間 週  
18-2 1週間あたりの施行日数(ありの場合) 日  
18-3 1週間あたりの施行時間(ありの場合) 時間  
18-4 プログラムの内容(ありの場合自由記述)( )

19. 復職直前に、休務処遇のまま試験会社（リハビリ会社）を施行していた

①あり ②なし（終わり）

19-1 試験会社（リハビリ会社）の合計施行期間 週  
19-2 1週間あたりの施行日数（ありの場合） 日  
19-3 1週間あたりの施行時間（ありの場合） 時間  
19-4 作業の内容（ありの場合自由記述）（ ）

【予後データ】（経過をフォローしてご記入ください）

復職発令日： 年 月 日

もし、予後フォロー中、病気休暇・休職に入った場合は、

復職1ヵ月後、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月、18ヶ月、24ヶ月

1. 勤務状況

- ① 短縮勤務（8時間未満の勤務）
- ② 8時間勤務で残業不可
- ③ 残業可の勤務
- ④ 病気休暇・休職中

2. 軽減勤務日数

該当期間の間に、1. 勤務状況の①短縮勤務にあたる期間があった場合は、その日数を記載してください。

病気休暇・休職日： 年 月 日  
（これには、有給休暇による休みは含まない）

《まれとは思われるが、病気休暇・休職と復職を繰り返す事例があれば、4度目の再発、再復職まで記録できるようにシートに欄を設けてある》

該当企業からの退職日： 年 月 日



## 基本

協力サイト名

協力サイト内ID

基本データ記録スタッフ氏名

基本データ入力年月日

1. 性別 ①男性 ②女性
2. 年齢(年) 調査同意時年齢:数字入力
3. 学歴 ①高卒まで ②専門学校・大学中退 ③大卒 ④大学院以上(大学院に通学歴があれば、大学院以上とする)
4. 婚姻状況 ①未婚 ②既婚(再婚を含む) ③離婚 ④死別
5. 診断 ①気分障害 ②不安障害 ③精神病④物質依存(アルコール依存を含む) ⑤その他
6. 初診時年齢 当該疾患の為に、最初に医療機関を受診したときの年齢
7. 直近休務期間(月) 今回の休務期間(継続していれば、有給休暇も含む)
8. 総休務回数 過去に病気休暇・休職した回数
9. 総休務期間(月) 過去に病気休暇・休職した期間の合計(継続していれば、有給休暇も含む)
10. 所属企業業種 ①鉱業②建設業③製造業④電気・ガス・水道⑤運輸⑥通信⑦卸売・小売⑧飲食⑨金融・保険⑩不動産業⑪サービス業⑫医療・福祉⑬それ以外(記入)
11. 職種 ①研究職、②SE、③技術職、④専門職、⑤管理部門、⑥事務、⑦営業・販売、⑧サービス、⑨運転、⑩生産ライン・機械操作、⑪保安、⑫その他
12. 職階 ①経営層・事業場長相当以上、②部・課長相当、③係長・主任相当、④一般社員、⑤その他(記入)
13. 勤続年数(現在の企業) 現在の企業で正社員として勤務した年数
14. 勤続年数(合計) これまでに各企業で正社員として勤務した年数
15. 休務前3ヶ月の平均時間外勤務時間 月平均時間
16. 業務上の発症イベントの有無 発症前6ヶ月間における業務上の出来事 ①あり(→16-1、2、3へ) ②なし(17へ)  
16-1 イベントの個数 ①1つ ②2つ以上  
16-2 イベントの内容 自由記載  
16-3 客観的に見た場合のイベントの影響の大きさ(複数のイベントがある場合には最も影響が大きかったイベントについて) ①非常に大きい ②やや大きい ③それほど大きくない ④小さい ⑤不明
17. 業務外の発症イベントの有無 発症前6ヶ月間における業務上の出来事 ①あり(17-1、2、3へ) ②なし(18へ)  
17-1 イベントの個数 ①1つ ②2つ以上  
17-2 イベントの内容 自由記載  
17-3 客観的に見た場合のイベントの影響の大きさ(複数のイベントがある場合には最も影響が大きかったイベントについて) ①非常に大きい ②やや大きい ③それほど大きくない ④小さい ⑤不明
18. 復職直前に、職場復帰援助プログラムに参加していた ①あり(18-1、2、3、4へ) ②なし(19へ)  
18-1 職場復帰援助プログラム総参加期間(週)  
18-2 復職直前の職場復帰援助プログラムの1週間あたりの参加日数(日/週)  
18-3 復職直前の職場復帰援助プログラムの1週間あたりの参加時間(時間/週)  
18-4 職場復帰援助プログラムの内容 自由記載
19. 復職直前に、試験入社・リハビリ入社を施行していた ①あり(19-1、2、3、4へ) ②なし(終わり)

- 19-1 試験出社・リハビリ総施行期間(週)
- 19-2 復職直前の試験出社・リハビリ出社の1週間あたりの施行日数(日/週)
- 19-3 復職直前の試験出社・リハビリ出社の1週間あたりの施行時間(時間/週)
- 19-4 試験出社・リハビリ出社作業内容 自由記載

協カサイト名  
協カサイト内 ID  
シート評価産業医氏名  
産業医データ入力年月日  
産業医年齢(才)  
産業医性別(1. 男性 2. 女性)  
産業医経験年数

シート項目 1  
シート項目 2  
シート項目 3  
シート項目 4  
シート項目 5  
シート項目 6  
シート項目 7  
シート項目 8  
シート項目 9  
シート項目 10  
シート項目 11  
シート項目 12  
シート項目 13  
シート項目 14  
シート項目 15  
シート項目 16  
シート項目 17  
シート項目 18  
シート項目 19  
シート項目 20  
シート項目 21  
シート項目 22  
シート項目 23

予後

協力サイト名

協力サイト内 ID

復職発令年月日

定義：「休務日数」とは、復職後、該当の調査ポイントまでの間の、産業医・主治医などの指示に基づく、休務日数を指します

定義：「軽減勤務日数」とは、復職後、該当の調査ポイントまでの間の、産業医・主治医などの指示に基づく、軽減勤務(休務は含まない)の日数を指します

復職後の勤務状況判定基準

- ① 短縮勤務（8時間未満の勤務）
- ② 8時間勤務で残業不可
- ③ 残業可の勤務
- ④ 病気休暇・休職中

復職1ヵ月後データ入力年月日

1ヵ月後データ記録スタッフ氏名

1ヵ月後 勤務状況

1ヵ月間の休務日数

1ヵ月間の軽減勤務日数

復職3ヵ月後データ入力年月日

3ヵ月後データ記録スタッフ氏名

3ヵ月後 勤務状況

3ヵ月間の休務日数

3ヵ月間の軽減勤務日数

復職6ヵ月後データ入力年月日

6ヵ月後データ記録スタッフ氏名

6ヵ月後 勤務状況

6ヵ月間の休務日数

6ヵ月間の軽減勤務日数

復職12ヵ月後データ入力年月日

12ヵ月後データ記録スタッフ氏名

12ヵ月後 勤務状況

12ヵ月間の休務日数

12ヵ月間の軽減勤務日数

復職18ヵ月後データ入力年月日

18ヵ月後データ記録スタッフ氏名

18ヵ月後 勤務状況

18ヵ月間の休務日数

18ヵ月間の軽減勤務日数

復職24ヵ月後データ入力年月日

24ヵ月後データ記録スタッフ氏名

24ヵ月後 勤務状況

24ヵ月間の休務日数

24ヵ月間の軽減勤務日数

復職後再び病気休暇・休職に入った場合は、その年月日(有給休暇は含まない) ①再発

再発後、また復職した場合は、その年月日 ②再復職

再復職後、また病気休暇・休職に入った場合は、その年月日(有給休暇は含まない) ③2度目再発

2度目の再発後、また復職した場合は、その年月日 ④2度目再復職

2度目再復職後、また病気休暇・休職に入った場合は、その年月日(有給休暇は含まない) ⑤3度目再発

3度目の再発後、また復職した場合は、その年月日 ⑥3度目再復職

3度目再復職後、また病気休暇・休職に入った場合は、その年月日(有給休暇は含まない) ⑦4度目再発

4度目の再発後、また復職した場合は、その年月日 ⑧4度目再復職

該当企業から退職した場合は、その年月日

注. 軽減勤務とは、通常の1日の勤務時間(例:8時間)に満たない勤務を指します

## 1. 目的

この度、平成20年度厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括的治療に関する研究」（主任研究者 秋山 剛）の一環として、既に関与されている「職場復帰準備性評価シート」が、本当に職場復帰後の勤務継続を予測できるかという調査をしたいと考えています。

共同研究者は、東京大学の川上憲人教授、北里大学の田中克俊准教授です。

調査計画、調査にあたっての配慮は、以下のとおりです。調査にご協力いただける場合は、別紙の同意書に署名して貴社の産業医にお渡しください。

## 2. 計画（協力内容）

- ① 対象者が、職場復帰する前後1ヶ月以内に、産業医に面接を行ってまいります。（職場復帰準備評価データ）
- ② ①性別、②年齢、③学歴、④婚姻状況、⑤診断、⑥初診時年齢、⑦直近休務期間、⑧総休務回数、⑨総休務期間、⑩所属企業業種、⑪職種、⑫職階、⑬勤続年数（現在の企業）、⑭勤続年数（総計）、⑮休務前3ヶ月の平均時間外勤務、⑯業務上の発症イベントの有無と内容、⑰業務外の発症イベントの有無と内容 について、産業医に確認していただきます。（基本データ）
- ③ 産業医ではない、協力スタッフに依頼して、職場復帰後、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、1年半、2年の時点での、勤務継続状況について、確認していただきます。業務遂行状況については、協力スタッフが、本人および上司から聴取して判断していただきます。（予後データ）

## 3. 説明同意

対象企業、協力産業医、調査対象者本人のすべてから、書面で同意をいただける場合のみ、今回の調査の対象としています。

## 4. 計画への参加についてのご説明

- ① 任意性と撤回の自由  
本調査に協力するかどうかは、貴社の自由です。また、参加への同意は、調査開始後、どの時点でも撤回できます。
- ② 利益および不利益  
本調査への参加を拒否されても、なんら不利益は生じません。調査に参加する利益としては、シートを用いた質問が、職場復帰の準備についての指導に、いづらか役に立つかもしれません。
- ③ 個人情報の保護  
調査対象者本人の説明同意は、産業医のところに留め置いていただき、また「職場復帰準備評価シート」「基本データ」「予後データ」は、研究IDのみを付して、送っていただきますので、個人を特定できるのは貴社外には伝わりません。データの入力、守秘義務を負う専門業者および調査者が行います。データの分析は、研究の関係者のみが行います。調査票は、鍵のついた保管場所に保管され、データ入力後はシュレッターで処分されます。
- ④ 調査結果の通知  
産業医が、調査対象者との面接時に、評価シートに関する情報について通知していただくことはかまいません。

⑤ 調査結果の公表

本調査の分析結果については、結果を広く役立ていただくために、学会発表、論文発表を行う予定です。その際、協力いただいた企業、産業医、協力スタッフ、調査対象者に関する情報が特定されることはありません。

⑥ 費用について

今回の調査で、協力していただく企業、産業医、スタッフへの費用負担は生じません。

⑦ ご質問など

今回の調査に関するご質問がありましたら、下記まで、お問い合わせください。

責任者、担当者

NTT東日本関東病院精神神経科部長 秋山 剛

〒141-8625 品川区東五反田5-9-22

Eメール：[akiyama@east.ntt.co.jp](mailto:akiyama@east.ntt.co.jp) 電話：03-3448-6502

「職場復帰準備評価シート調査」への同意書（企業担当者）

NTT 東日本 関東病院 落合慈之院長殿

本社は「職場復帰準備評価シート調査」への協力にあたり、「目的」「計画（協力内容）」「説明同意」「任意性と撤回の自由」「利益および不利益」「個人情報の保護」「調査結果の通知」「調査結果の公表」「費用について」「ご質問など」を理解したうえで、調査への協力を同意いたします。

平成 年 月 日

担当者氏名

企業名

役職

住所

電話

担当者（責任者） 秋山 剛

部署名 NTT 東日本関東病院精神神経科

連絡先 03-3448-6502 (緊急連絡先) 03-3448-6501



## 5. 目的

この度、平成20年度厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括的治療に関する研究」（主任研究者 秋山 剛）の一環として、既に関開されている「職場復帰準備性評価シート」が、本場に職場復帰後の勤務継続を予測できるかという調査をしたいと考えています。

共同研究者は、東京大学の川上憲人教授、北里大学の田中克俊准教授です。

調査計画、調査にあたっての配慮は、以下のとおりです。調査にご協力いただける場合は、別紙の同意書に署名してご返送下さい。

## 6. 調査計画（協力いただく内容）

- ① 対象者が、職場復帰する前後1ヶ月以内に面接を行い、評価シートを用いて評価を行い、エクセルファイルで入力してください。（この評価は、③の協力スタッフには知らせないでください）（職場復帰準備評価データ）
- ② ①性別、②年齢、③学歴、④婚姻状況、⑤診断、⑥初診時年齢、⑦直近休務期間、⑧総休務回数、⑨総休務期間、⑩所属企業業種、⑪職種、⑫職階、⑬勤続年数（現在の企業）、⑭勤続年数（総計）、⑮休務前3ヶ月の平均時間外勤務、⑯業務上の発症イベントの有無と内容、⑰業務外の発症イベントの有無と内容 について確認し、エクセルファイルで入力してください。（基本データ）
- ③ 産業医ではない、協力スタッフに依頼して、職場復帰後、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、1年半、2年の時点での、勤務継続状況について、確認してもらってください。業務遂行状況については、協力スタッフが、本人および上司から聴取して判断してください。「再休職」が必要になる場合は、産業医による職場復帰時の評価を知らされていない、主治医と本人の間の決定に基づいて指示してください。（主治医からの診断書に基づかず、産業医が、独自で再休職指示を行わなければならなかった事例は、データとして除外いたしますので、その旨、ご連絡下さい）（予後データ）

## 7. 説明と同意

対象企業、協力産業医、調査対象者本人のすべてから、書面で同意をいただける場合のみ、今回の調査の対象としています。

## 8. 計画への参加についてのご説明

- ① 任意性と撤回の自由  
本調査に協力するかどうかは、産業医およびご本人の自由意志でお決めいただいて結構です。また、参加への同意は、調査開始後、どの時点でも撤回できます。
- ② 利益および不利益  
本調査への参加を拒否されても、なんら不利益は生じません。調査に参加する利益としては、シートを用いた質問が、職場復帰の準備を指導する上で、いくらか役に立つかもしれません。
- ③ 個人情報の保護  
調査対象者本人の説明同意は、産業医のところに留め置いてください。「職場復帰準備評価データ」「基本データ」「予後データ」は、調査IDのみを付して、当職に送ってください。これにより、個人を特定できるデータは、貴社外には伝わりません。データの入力、守秘義務を負う専門業者および調査者が行います。データの分析は、研究の関係者のみが行います。調査票は、鍵のついた保管場所に保管され、データ入力後はシュレッターで処分

されます

④ 調査結果の通知

調査対象者との面接時に、評価シートに関する情報について通知していただくことはかまいません。

⑤ 調査結果の公表

本調査の分析結果については、学会発表、論文発表を行う予定です。その際、協力いただいた企業、産業医、協力スタッフ、調査対象者に関する情報が特定されることはありません。

⑥ 費用について

今回の調査で、協力していただく産業医、スタッフへの費用負担は生じません。

⑦ ご質問など

今回の調査に関するご質問がありましたら、下記まで、お問い合わせください。

責任者、担当者

NTT東日本関東病院精神神経科部長 秋山 剛

〒141-8625 品川区東五反田5-9-22

Eメール：[akiyama@east.ntt.co.jp](mailto:akiyama@east.ntt.co.jp) 電話：03-3448-6502

「職場復帰準備評価シート調査」への同意書（産業医）

NTT 東日本 関東病院 落合慈之院長殿

私は「職場復帰準備評価シート調査」への協力にあたり、「目的」「計画（協力内容）」「説明同意」「任意性と撤回の自由」「利益および不利益」「個人情報保護」「調査結果の通知」「調査結果の公表」「費用について」「ご質問など」を理解したうえで、調査への協力を同意いたします。

平成 年 月 日

産業医氏名

企業名

住所

電話

担当者（責任者） 秋山 剛

部署名 NTT 東日本 関東病院 精神神経科

連絡先 03-3448-6502 (緊急連絡先) 03-3448-6501

## 9. 目的

この度、平成20年度厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）「リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括的治療に関する研究」（主任研究者 秋山 剛）の一環として、既に関係されている「職場復帰準備性評価シート」が、本当に職場復帰後の勤務継続を予測できるかという調査を、東京大学の川上憲人教授、北里大学の田中克俊准教授と共同で施行しております。

調査計画、調査にあたっての配慮は、以下のとおりです。調査にご協力いただける場合は、別紙の同意書に署名して、産業医にお渡しください。

## 10. 計画

- ① 職場復帰時に、会社の産業医が1時間程度面接し、体調などを確認させていただきます。
- ② ①性別、②年齢、③学歴、④婚姻状況、⑤診断、⑥初診時年齢、⑦直近休務期間、⑧総休務回数、⑨総休務期間、⑩所属企業業種、⑪職種、⑫職階、⑬勤続年数（現在の企業）、⑭勤続年数（総計）、⑮休務前3ヶ月の平均時間外勤務、⑯業務上の発症イベントの有無と内容、⑰業務外の発症イベントの有無と内容 について確認させていただきます。
- ③ 職場復帰後、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、1年半、2年の時点での、勤務継続状況について確認させていただきます。（産業医ではない、協力スタッフが担当します）

### 11. 説明同意

対象者用の説明書をお渡しいただいて、書面で同意をいただける方のみ、今回の調査の対象としています。

### 12. 計画への参加についてのご説明

#### ① 任意性と撤回の自由

本調査に参加するかどうかは、ご本人の自由です。また、参加への同意は、調査開始後、どの時点でも撤回できます。

#### ② 利益および不利益

本調査への参加を拒否されても、なんら不利益は生じません。調査に参加する利益としては、本調査に関連した産業医の面接での質問が、職場復帰の準備を整える上で、役に立つことが期待されます。

#### ③ 個人情報の保護

収集されたデータが本研究の目的以外で使用されることは、絶対にありません。全ての個人情報、健康管理スタッフのみが知りえます。調査者にも、みなさまの個人情報は伝わりません。データの入力、守秘義務を負う専門業者および調査者が行います。データの分析は、調査者のみが行います。また、その他の人は一切データにはタッチ出来ません。調査票は、鍵のついた保管場所に保管され、データ入力後はシュレッターで処分されます。

#### ④ 調査結果の通知

産業医の面接時に、みなさまの状態について、一緒に確認していただくことができます。

#### ⑤ 調査結果の公表

本調査の分析結果については、結果を広く役立てていただけるように、学会発表、論文発表を行う予定です。その際、協力いただいた方々および企業に関する情報が特定されることはありません。